

**建設長崎組合員・家族慰安
大運動会開催のお知らせ**
 と き 20年10月19日(日) 午前10時開会
 と ころ 琴海北部グラウンド
 長崎市琴海大平町

建設長崎

September
No.519
2008年9月15日
1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます
印刷 (株)昭和堂 TEL 095 821 1234

発行 長崎県建設産業労働組合 〒852 8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095 862 7121 FAX 095 862 5281 <http://www.kensetunagasaki.org/> 発行責任者 北村政和 編集人 田上一郎

仲間の諸要求実現の為に 本部・支部一丸となって拡大行動展開を!



平成20年度支部大会開催される

(組合の活性化を図り、組織拡大・内部強化を実現しよう!)

県下十五支部は、建設長崎部を始め、九月九日の島崎第六十三回定期大会を受、原支部まで支部大会を開催し、八月二十日の東長崎支しました。

**組織減少から増加へ
各支部大会で誓いあろう**

8月20日
~
9月9日迄

本部を代表して、相川哲男新執行委員長は「私たちが取りまく情勢は、建設業

は勿論のこと、国内の景気はガソリン価格高騰を始めとした物価の上昇など、庶民の生活は苦しくなるばかりである。

そのような中、私たちの諸要求を実現させるためにも数の力は重要です。組織拡大に向けた取り組みを各支部においても強化してほしい。同様に与野党逆転のため、組合の推薦議員については組合員みなさんの応援を是非お願いしたい。また、賃金と仕事確保を連動させた運動も大きな課題として取り組みたい」とあいさつ。

来賓として出席した推薦議員からも、お礼と激励のあいさつをうけました。

各支部とも、各種功労者表彰や健康優良家庭表彰のあと、議事として、平成十九年度支部活動経過報告・支部会計決算報告を行い、平成二十年度支部活動方針の中で組織拡大三五〇名に向けた取り組みとして、年間拡大目標を設定して取り組むことが決定されました。続いて、平成二十年度支部会計予算(案)提案のあと、平成二十年度の支部三役を始め、執行委員や分会長等の確認がなされました。

秋期拡大行動展開中

各支部とも拡大目標達成に向けてまずは秋期拡大から取り組みます。未加入者の紹介をお願いします。

平成20年

秋期拡大行動期間 10月~11月

各支部拡大目標 (秋期)

中央	15名
大浦	10名
市南	15名
東長崎	15名
浦上西	25名
浦上東	10名
西彼	20名
諫早	25名
大村	15名
島原	15名
佐世保中央	30名
佐世保東	20名
佐世保北	20名
北松	15名
平戸	10名
合計	260名

県下最大の建設技能者の組合

厳しい時だからこそ!
組合に加入して共にがんばりましょう。

もうこれ以上がまんできない!「仕事を確保し、後継者が育つ資金を」市民に理解と協力を求めデモ行進を行う仲間たち

建設長崎 生活危機突破総決起集会

県下最大の建設技能者組合です
建設長崎
TEL 095(862)7121

組織八、〇〇〇名還元への足固めとして、これ以上の組織減少を抑えるため分會班の仲間同士のつながりと団結を強化し、組織拡大を具体的に図るため、支部別拡大目標の設定や訪問行動日等、具体的な取り組みを協議していきます。



宣伝カーでの街宣行動実施中

中央支部

開催日 九月一日(月)
 会場 長崎県勤労福祉会館
 参加者 九十九名
 支部長 坂口 忠義(左官)
 副支部長 内野 幸雄(大工)
 " 手水 鐵吉(大工)
 " 樋口 正人(大工)
 " 山口 龍志(左官)
 " 本多 常秋(型枠大工)
 書記長 大賀 修司(専従)



大浦支部

開催日 八月二十一日(金)
 会場 大浦公民館
 参加者 四十九名
 支部長 田上 義高(大工)
 副支部長 平山 正則(大工)
 " 北村 五男(左官)
 " 諸山 克吉(硝子工)
 " 竹崎 初雄(大工)
 書記長 大賀 修司(専従)
 担務佐 原田 恒久(専従)



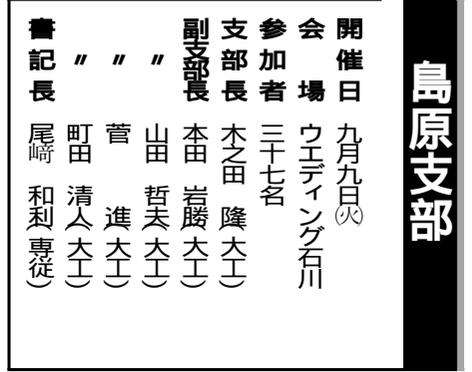
市南支部

開催日 八月二十五日(月)
 会場 長崎南商工会
 参加者 四十三名
 支部長 中島 直人(大工)
 副支部長 山本 秀夫(大工)
 " 葛島 俊美(大工)
 " 小宮 清治(大工)
 " 松浦 良(左官)
 " 小泉 雄義(大工)
 書記長 古井 宏樹(専従)



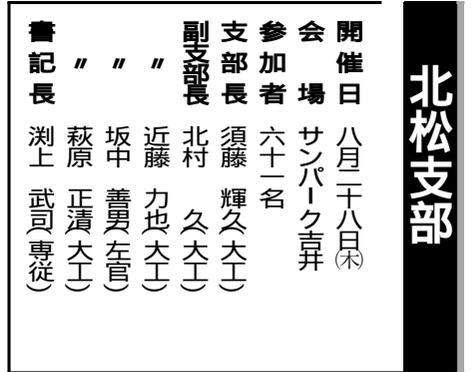
島原支部

開催日 九月九日(火)
 会場 ウエディング石川
 参加者 三十七名
 支部長 木之田 隆(大工)
 副支部長 本田 岩勝(大工)
 " 山田 哲夫(大工)
 " 菅 進(大工)
 " 町田 清人(大工)
 書記長 尾崎 和利(専従)



北松支部

開催日 八月二十八日(水)
 会場 サンパーク吉井
 参加者 六十一名
 支部長 須藤 輝久(大工)
 副支部長 北村 久(大工)
 " 近藤 力也(大工)
 " 坂中 善男(左官)
 " 萩原 正清(大工)
 書記長 淵上 武司(専従)



新役員が決定

各支部大会開催される 一、〇七六名が出席

各支部では建設長崎第六十三回定期大会終了後、八月二十日の東長崎支部大会を皮切りに県下十五支部が各々、九月九日迄に支部大会を開催しました。支部大会では、私たちの諸要求実現の為に積極的拡大行動に組織拡大・内部強化と仕事確保を最重点に取り組むことを確認。また、新役員についても決定されました。参加者は、組合員・主婦会など全体で一、〇七六名でした。

東長崎支部

開催日 八月二十日(水)
 会場 JA古賀
 参加者 七十二名
 支部長 牧島 真(大工)
 副支部長 岩泉 和範(左官)
 " 井手 貞夫(左官)
 " 長野 末廣(大工)
 " 里 澄宏(大工)
 書記長 尾崎 和利(専従)

浦上西支部

開催日 九月一日(月)
 会場 組合本部
 参加者 八十九名
 支部長 吉川 勝(左官)
 副支部長 村岡 広明(左官)
 " 山口 好行(大工)
 " 井上 義満(大工)
 " 木下 広次(大工)
 " 山崎 司(大工)
 " 佐藤 昭彦(塗装工)
 " 河上 茂(大工)
 書記長 若杉 孝雄(専従)

諫早支部

開催日 八月十九日(金)
 会場 諫早勤労者福祉会館
 参加者 八十七名
 支部長 高谷 義信(大工)
 副支部長 樋口 義雄(大工)
 " 木下 忠明(大工)
 " 石丸 久(大工)
 " 田崎 義光(大工)
 " 中村 太司(大工)
 書記長 池田 剛(専従)

佐世保北支部

開催日 九月四日(水)
 会場 中里・皆瀬地区公民館
 参加者 七十九名
 支部長 小林 健治(大工)
 副支部長 福田 栄治(大工)
 " 柚元 美則(大工)
 " 松山 新(大工)
 " 松尾 正明(大工)
 書記長 淵上 武司(専従)

西彼支部

開催日 九月三日(火)
 会場 時津町北部コミュニティーセンター
 参加者 一〇〇名
 支部長 尾崎 由盛(大工)
 副支部長 植田 勝次(大工)
 " 松林 満男(左官)
 " 石橋 洪建(真工)
 " 井手 保(左官)
 書記長 城下 大輔(専従)

平戸支部

開催日 八月二十七日(月)
 会場 平戸海上ホテル
 参加者 六十五名
 支部長 寺田 孝弘(大工)
 副支部長 林 敏英(大工)
 " 岡田 真(大工)
 " 大石 義孝(大工)
 書記長 小野 猛(専従)

大村支部

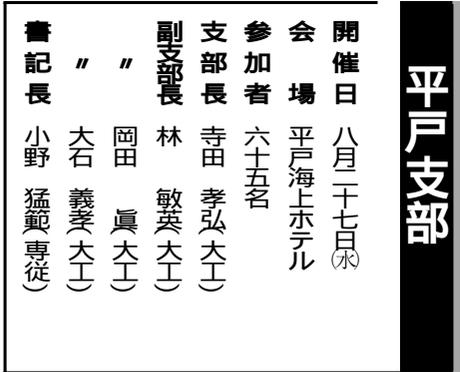
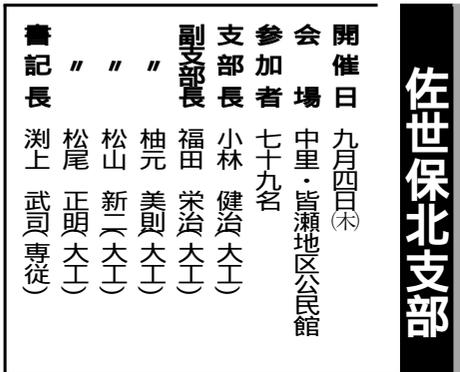
開催日 八月二十六日(火)
 会場 支部事務所
 参加者 八十五名
 支部長 伊藤 一廣(大工)
 副支部長 福田 通建設事務
 " 平内 末雄(左官)
 " 上野 美喜雄(大工)
 " 川田 洋(大工)
 " 中尾 政男(大工)
 " 緒方 末広(大工)
 書記長 立野 靖也(専従)

佐世保東支部

開催日 九月八日(月)
 会場 広田地区公民館
 参加者 八十八名
 支部長 丸田 勉(大工)
 副支部長 茅原喜志(土木工)
 " 長島 則行(大工)
 " 田中 秀幸(左官)
 " 小谷 守(大工)
 " 迎 稔(大工)
 書記長 松園 俊輔(専従)

浦上東支部

開催日 九月五日(金)
 会場 組合本部
 参加者 五十七名
 支部長 田中 秀則(左官)
 副支部長 森 政(大工)
 " 杉山 達美(左官)
 " 田川 和博(大工)
 書記長 井関 一幸(専従)



被爆 63 年 原爆殉難者慰霊祭



代表献花を行う相川委員長



折り鶴の献納をする荒木主婦会会長

八月八日、建設長崎労働者・職人原爆殉難者慰霊祭が、原爆公園内の「不戦平和の塔」前で執り行われました。

慰霊祭には、各支部より代表者の方が参加。また、全建設連の各組合・県連からも参列頂きました。

原爆が投下された午前十一時二分に合わせて、参列者全員で黙とうを捧げた後、全建設連の古市書記長、広島建労の安元執行委員長、建設長崎の相川委員長がそれぞれ代表で献花を行いました。

続いて、長崎県下十五支部と全国各地より集められた名水の献水と平和の祈りを述べ、

最後に、参列者一人一人が白菊の献花を行い原爆で亡くなられた方々の「冥福を祈りました。

慰霊の言葉として全建設連の古市書記長は、「世界に誇る平和憲法の理念を再確認し、平和な世界の実現、核廃絶と平和憲法の遵守に向けて全力で闘つ」と、建設長崎の相川委員長は、「長崎を最後の被爆地としなければならぬ。核兵器のない平和の実現に向けて全力で取り組み」とそれぞれ平和へのメッセージを述べました。



慰霊の言葉を述べる全建設連古市書記長

平和への願いを込めて

浦上川万灯流し



建設長崎では、今年も平和運動の一環として、八月九日の原爆の日、水を求めて息途絶えた犠牲者をしのぶ『浦上川万灯流し』に、原爆殉難者慰霊奉賛会や城山連合自治会等と協賛して取り組みました。

夕方の午後五時より組合員・主婦会・書記局が集合し井形を組んだ後、城山地区の子どもらが平和への願いを込めた言葉や絵を描いた万灯約七〇〇個が取り付けられ、川沿いに並べられた万灯と、合わせて二、〇〇〇個が川面を揺らしました。

ゆっくりと川下に流れていく万灯の明りを見ながら、原爆殉難者の慰霊と平和を守り核の廃絶を願いました。

県議会だより

長崎県議会議員 金子三智郎

長崎県は県庁舎建設問題

大きく揺れています。

長崎の地元商店街が庁舎の移転に反対の態度を表明し、大きな横断幕を掲げています。

問題が大きくなれば、論点が微妙にずれて、単なる感情の行き違い?と思われるような意見も飛び出して来ます。

県庁舎の問題には、また、これからの街づくりを見越



一般質問を行う金子県議

した提案が、理事者から出されておらず、今の県庁舎敷地をどうするかは提案もなされていない段階で、議論を飛び越えた話が先行することは避けたいと考えて、私なりの考えを表明するのは控えてきました。

「埋立地は液化化現象が起きて土地がたつたたになる?」海岸近くは津波の被害を受ける可能性がある?」

これは魚市跡地を否定する人達の意見です。

・魚市跡地は軟弱地盤ではありませぬ。長崎市の地下には、巨大な岩盤プレートが横たわっており、夢彩都やAMUプラザ等、最近建った新耐震建築物の構造計算でも、地下一六メートルに広がる大きな岩盤に基礎を固定することにより耐震性を確保しています。

魚市跡地も約二〇メートル地下に岩盤が確認されており、これに基礎を固定することにより強固な地盤となりませぬ。

・液化化の被害について。埋立地は一部には液化化被害の可能性が有ります。しかし今の土木技術では、その影響を排除する技術は十分に発達しています。数十年昔の液化化被害と同じことが今起こるような土木工事はありませぬ。液化化被害の可能性がある地点を事前に処理することにより被害発生の可能性は最小限に止められます。

津波の被害について。長崎は津波の影響?で水位が一メートル二〇センチ程度上昇したことはあっても、被害らしい被害を受けたことはありませぬ。このことは長崎の港が立地する状況を見れば明らかです。伊王島や香焼島が天然の防波堤

となり、長崎の港を津波から守ってくれます。疑問に思う方は、長崎の地図をじっくりと見れば納得されると思います。

先頭に教会を建て、シンボルとしました。その後、秀吉の禁教令により教会は跡形もなく取り壊されましたが、江戸幕府はシンボリック建物として奉行所を建てました。

県庁舎の眼下には、長崎市が復元計画を立てた出島が往時の姿を見せ始めています。復元された江戸時代の心配も解消しました。

私見ですが長崎の名前の起りは「なにか先」市役所から県庁舎にかけては、海に突き出た細長い岬だったからと一説ではいわれています。

最初に長崎の町を開いたポルトガル人は、その岬の

その舞台となった場所が

江戶時代の石垣がほぼそのまま残されています。江戸時代に一番輝いていた長崎

の町に、その時代の遺産が残されていない町、いつせいに取り壊されてしまった町、今、美しい町を取り戻す最後のチャンスであると思います。

県庁の跡地には、江戸時代を復元させ、新しい観光の目玉として、長崎の活性化を図る。そのことが、長崎市民だけではなく、長崎県民の活力を生み、経済浮揚へと進むことになり得ると考えます。

ただし、県庁舎の建設工事は一〇〇%地場企業が施工出来る体制作りを行うこと。せっかくの大型プロジェクトです。県内活性化に寄与すべきです。

今、長崎は、製造業が落ち込み、経済浮揚の糸口も全く見えず県民の生活も非常に厳しい状況になっています。

県庁舎の眼下には、長崎市が復元計画を立てた出島が往時の姿を見せ始めています。復元された江戸時代の心配も解消しました。

文化の唯一の窓口として、長崎は光り輝き、長崎海軍伝習所など諸外国の文化や知識を取り入れるための機関が設けられ、勝海舟や坂本龍馬、岩崎弥太郎など、うすつたるメンバーが活躍した町でした。

型枠支保工作業主任者講習会の案内

1、開催日及び会場	地区	日程	会場
	県北地区	平成二十年十月二十三日(水) 午前九時〇〇分~午後五時〇〇分 (受付開始午前八時三〇分より)	建設長崎県北総合会館 佐世保市大黒町五三四 一八 TEL 〇九五六 三三一 三三〇〇

- 取得する資格
 - 型枠支保工作業主任者 (修了証交付)
 - 育等に関する知識
 - 専門学院での作業主任資格を有し、主任者手帳がある者は提出のこと。
- 受講資格
 - ①該当する作業で三年以上の経験がある者
 - ②高校以上の学校で、その作業に関連する科目を履修し、卒業して二年以上の経験のある者
- 講習料
 - 建設長崎組合員 六、〇〇〇円
 - 組合員以外 八、〇〇〇円
- 受付方法
 - 講習日の五日前迄に各支部において受付。写真二枚(サイズ二・五cm)x三・〇cm)
- 講習科目
 - 知識
 - 器具、作業環境等

経営審査時における主観点数事項の追加について

長崎県内においては、作業員の高齢化や経費節減に伴う安全対策の未整備により、建設工事現場で発生する労働事故や公衆事故が増加傾向にあることなどから、法定外保険等に加入促進することで被災者の保護や労働福祉の向上を図るために、下記の2つの保険のいずれか、または両方の保険に加入している建設業者に対し、平成21年度から主観点数を付与することになりました。

- 法定外労働災害補償制度の加入者

検討項目	基準内容
①評価方法	保険期間が、今期決算日を含む1年間以上の契約であること。
②加算点	休業補償限度額 3千円/1日以上 5点 5千円/1日以上 10点
③加算業種	格付けする全業種
- 第三者賠償責任保険の加入者

検討項目	基準内容
①評価方法	①保険期間が、今期決算日を含む1年間以上の契約であること。 ②原則、保険期間中のすべての工事を保険対象とするものであること。 ③工事中及び工事に起因した対人・対物事故を対象とし、下請負人も含むこと。
②加算点	補償限度額 5千万円以上 5点 1億円以上 10点
③加算業種	格付けする全業種
- 届出について
 - 提出期間 平成20年10月1日(水)~平成20年11月14日(金)
 - 申請用紙の入手方法 県ホームページより <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~kensetugyo/syukanten.htm>
 - 提出先及びお問い合わせ先 長崎県土木部監理課建設業指導班 長崎市江戸町2-13(電話095-894-3015直通)
 - その他の項目(CPDSや障害者・新規学卒者雇用など)は、従来どおり

の町に、その時代の遺産が残されていない町、いつせいに取り壊されてしまった町、今、美しい町を取り戻す最後のチャンスであると思います。

労働保険に加入しましょう

10月 - 労働保険適用促進月間 -

平成20年度キャッチコピー
一人でも雇ったら、必ず入るもの。それは「労働保険」です!

労働者を一人でも雇用する事業主は、法律により労働保険への加入が義務づけられています。

労働保険とは、「労災保険」と「雇用保険」を総称した制度で、労働者が業務通勤災害の際の災害補償等労働者の保護や失業した場合の失業給付等のための制度です。

また、事業主に対しては雇用促進、雇用の安定を図る等のための各種助成金制度があります。

事務手続きは、[労働保険事務組合]または[社会保険労務士]を通じて加入することもできます。

詳細については、下記へお尋ねください。

長崎労働基準監督署(適用係)(TEL846-6386)
長崎公共職業安定所(適用係)(TEL862-8647)

大浦支部 戸町夏祭りの協賛在席デー

大浦支部では、八月二十三日(土)に、戸町夏祭り協賛の住宅フェアを行いました。組合員十六名の参加をいただき、住宅相談や、無料包丁研ぎサービス、子供木工教室を行いました。天気は曇りで、暑くなく良かったねとの話もつかの間、途中から雨が降りだし、最後には大雨となりました。木工教室では植木鉢置きを作り、用意していた二十組はあつという間になくなり、小学生がお母さんにあげるんだと嬉しそうに、一生懸命に作っていました。包丁研ぎでは、包丁百三十六本を研ぎ、来ていただいた方からは、「今年もよろしくお願いします」と声をいただきました。

本部からは、相川委員長をはじめ船津副委員長、金子常任顧問が応援に来て、「お疲れ様、今年も頑張りましたよ」と笑顔で声をかけていました。毎年恒例で行っており、年々包丁の本数が増え、建設長崎と言つ名前が浸透してきたものだと思います。これを仕事確保に繋げていけるよう進めていきたい。(原田)

- 参加者(敬称略)
- | | |
|-------|-------|
| 工藤 是正 | 田上 義高 |
| 北村 五男 | 平山 正則 |
| 諸山 克吉 | 竹崎 初雄 |
| 川原喜久雄 | 平山 宏三 |
| 安達九州男 | 竹市 幸信 |
| 鳥田 時治 | 池田 輝男 |
| 松尾 哲夫 | 梅澤 利久 |
| 相川 政敏 | 松山 力男 |



東長崎支部 住宅デー



東長崎支部は、八月二十四日に戸石公民館を中心として、子供たちは「ワァー、スゴイ」と大喜び。金子県議や相川委員長、田上書記長も視察に来られた。頑張っているね」とねぎらいの言葉を頂き、委員長はミニガーデンチェアを、書記長はミニポット入れを製作体験して頂き、お持ち帰り頂きました。午後四時ごろに終了し、今回の反省と親睦を兼ねた懇親会で最後を締め、残暑の厳しさの中にも、初秋の風を感じながら住宅デーを終了しました。今回はメニューが多くて参加して頂いた組合員さん

東長崎支部 妙案あり

洗って浮き出した模様を見て、子供たちは「ワァー、スゴイ」と大喜び。金子県議や相川委員長、田上書記長も視察に来られた。頑張っているね」とねぎらいの言葉を頂き、委員長はミニガーデンチェアを、書記長はミニポット入れを製作体験して頂き、お持ち帰り頂きました。午後四時ごろに終了し、今回の反省と親睦を兼ねた懇親会で最後を締め、残暑の厳しさの中にも、初秋の風を感じながら住宅デーを終了しました。今回はメニューが多くて参加して頂いた組合員さん

中央支部 日見分会 庖丁研ぎ まな板削り

支部だより

- 参加者(敬称略)
- | | |
|-------|-------|
| 牧島 貢 | 岩永 和範 |
| 長野 未廣 | 里 澄宏 |
| 井手 貞夫 | 木下千代蔵 |
| 寺田 政徳 | 竹浦 昌寿 |
| 鈴木 弘明 | 尾崎 一成 |
| 野口 博之 | 野口 清次 |
| 里 雄二郎 | 松田 六広 |
| 本田 隆彦 | 本田 勇 |

市南支部 海岸美化奉仕活動



八月二十四日、まだまだ残暑が厳しい八月の日曜日、市南支部では、海岸美化奉仕活動を行いました。今回は、朝九時に集合し、尾上海岸(香焼)と岳路海水浴場(蚊焼)の二ヶ所での実施。組合員、主婦会合せて二十一名の方が朝早くから参加、協力して下さいました。今年は台風も来ていない為か、あまりゴミは多くありませんでしたが、それでも、ペットボトルや蓋、花火のゴミ、包装のビニール、ビン、カンなど集めてみると、ごみ袋二十袋程になりました。一時間程で作業が終わると、汗を拭い、冷たい飲み物で喉を潤しながら談笑して、今回の海岸美化活動は終了しました。(古井)

- 参加者(敬称略)
- | | |
|-------|-------|
| 中島 直人 | 山本 秀夫 |
| 松浦 良二 | 小泉 雄義 |
| 葛島 俊幸 | 江崎 雪夫 |
| 與賀田 均 | 山崎五十六 |
| 三浦 実 | 木村 寿好 |
| 太田 武造 | 荒木 貞徳 |
| 山口 和俊 | 田中 義行 |
| 森 春生 | 山本 義晴 |
| 中島 善明 | 今田 邦宏 |
| 小松 満喜 | 浜崎 和夫 |
| 田中由美子 | 武次十三江 |



お盆迄のうだるような暑さは一変し、日陰に入ると清々しい風が吹き抜ける心地よい天気に恵まれた八月二十四日(日)、中央支部日見分会では組合員・主婦会合せて二十七名の参加で、芒塚公民館に於いて住宅デーを開催しました。日見分会の住宅デーは、網場漁協前と芒塚公民館で毎年交互に開催されており、前日の夕方には分会役員を中心に周辺地域への案内チラシの配布や、当日も主婦会による街宣活動を行いながら地域住民へ呼びかけにも積極的に取り組みました。そつした甲斐があつてか今回は七十四本の包丁研ぎと二枚のまな板削り、さらには終了間際に押し入れ用スノコの特注があるなど、ますますの盛況振りででありました。最後に当日参加頂きました皆さん、お蔭様でケガやトラブルもなく無事に終了することができました。(大賀)

- 参加者(敬称略)
- | | |
|-------|-------|
| 山本 孝義 | 伊東 秀政 |
| 内野 幸雄 | 手水 鐵吉 |
| 山下 廣造 | 坂口 忠義 |
| 川原 龜喜 | 森 千尋 |
| 大町 誠 | 釘田 敦弘 |
| 宇土 満 | 西村 忠光 |
| 林 次夫 | 石橋 廣喜 |
| 栗田 芳男 | 樋口 正人 |
| 田森 勝 | 馬渡 正幸 |
| 太田 俊一 | 吉田 一 |
| 馬渡ひろこ | 馬場口口子 |
| 栗田みどり | 川原 幸枝 |
| 内野 計子 | 樋口須磨子 |
| 大町きみ子 | |

大村支部 青年部

子供の家で木工教室指導

八月三十一日(日)、大村市 青年部主催による、青年部住宅デー(大村子供の家奉仕活動)を開催しました。青年部の継続事業として取り組んでおり、今年で四回目となります。小学一年生から六年生が参加していますが、今年も多くの子供たちが参加していました。作品は「写真立て」「ピンボール台」「本棚」で、子供たちは青年部の指導を受けながら、一生懸命、夏休みの作品を作っていました。

参加者(敬称略)
高取 征治 副島 俊哉
伊藤 一廣 伊藤 光廣
井手 伸吾 前田 悟司
上野 義弘 福田 通
二階堂裕也 石川 浩司
雄鹿 俊昭 中尾 政男
上村 良一 金水 誠
副島 具己



島原支部

花火を堪能、納涼懇親会

島原支部では、八月二十七日(水)、ガマダス花火大会にあわせ、支部事務所前(駐車場)で納涼懇親会を開催しました。数年前に事務所前の建物が取り壊され、打ち上げられる花火の絶好の見物ポイントとなっており、昨年か



ら、青年部が企画・立案し、支部全体を巻き込んだ懇親会となっています。当然、納涼懇親会ということで、組合員オリジナルのパーベキューセットを何台も据え付け、焼肉と焼き



支部だより

そは、そして生ビールをメインにし、用意したテントの中では、子供に大人気のかき氷や流しソーめん、スピドくしをこしらえ、まるで露店を思わせるような風情で大いに盛り上がりました。当日は、朝から雨が降り、開催も危ぶまれましたが、組合員・家族百十七名の参加で、曇り空に打ち上げられる花火を十分堪能することができ、子供たちには、夏休み最後のすてきな思い出となりました。準備に携わった青年部・組合員のみなさん、お疲れ様でした。(尾崎)

西彼支部 住宅デー

琴海・西彼分会で開催

西彼支部では、毎年恒例の各分会による『住宅デー』を開催しました。お盆明けの八月十七日(日)、琴海分会が、JA村松・長浦・形上の各支所の三会場で行いました。

各会場では、恒例となった包丁研ぎに、朝早くからお客さんがこられ、使い込まれた包丁を一本一本丁寧に研ぎ上げていきました。終了間際、受け取った包丁が見当たらず探す場面もありましたが、無事に見つかり、組合員三十四名の協力により三四一本の包丁を研ぎ上げました。翌週二十四日(日)には西彼分会がJA長崎西彼(農協展示会会場)で開催。今年で二回目の開催となり、昨年と同じ場所、チラシの効果で、昨年よりお客さんが多いのでは?との期待を背に、立ち寄る方からは「知つとけば持つてきた」との声が...そんな中、組合員の皆さんは、集まった包丁を手に、時間をかけて丁寧に研ぎ上げていました。今回、組合員十三名の協力により、五十一本の包丁を研ぎ上げました。(城下)

琴海分会住宅デー参加者 参加者(敬称略) 森 進 石坂福次郎 山下 繁昌 川崎 康夫 神近 剛 井手 吉一	川上 秋芳 石橋 洸 松山 義廣 岸川久美男 山下 二郎 今里 正吉	角崎 政文 小山 哲男 小野田国夫 溝口 安廣 林 一弘 山中 茂 相川 守	井手 一男 太田 正利 毛利 初美 岩下 敏昭 石橋 忍 山崎 春雄 徳永 八郎	平瀬 賢一 松尾 孝 前尾 辰美 相川 雅彦 浦添 朝夫 山崎 康博
--	---	--	--	---

浦上東支部 青年部



住みよい美しい街に

無償の清掃奉仕活動

浦上東支部青年部では九月七日(日)の朝九時から青年部担当三役の森副支部長も参加し、「清掃奉仕活動」に取り組みました。昨年の九月十六日に第一回を実施してから、今回で六回目の取り組みとなります。この一年間、泉町公園や支部事務所前の昭和町通りの清掃を実施してきたのですが、やはりタバコの吸殻が一番多く、空き缶・紙くず・お菓子の袋、大きなところでは、ビニール傘などでした。今回もタバコの吸殻は歩道に投げ捨てられているのと、側溝の中、溝蓋を上げての清掃を行いました。歩道を通行中の方の迷惑にならないよう気配りしながら、約一時間心地よい汗を流し、「三袋三袋分を集め、



西彼分会住宅デー参加者
参加者(敬称略)
入江 隆行 松尾 博幸
原口 福美 中山 文一
永田 弘保 永田 弘行
浦富 幸治 川本 雅彦
廣川 朝健 松本 敏弘
林 稔 田崎 武利
山崎 好則

冷たいスポーツドリンクで喉を潤し、終了しました。次回は十一月に実施予定。参加できる方は、支部事務所所に日程をお問い合わせください。よろしくお願いします。(井関)

参加者(敬称略)
森 政一 田崎 順一
佐藤 正知 北山 薫
吉田 光夫 野口 耕平
森 正輝 福田 実